鳥羽市議会運営委員会会議録

令和6年5月31日

○出席委員（6名）

委員長 坂倉 広子
委員 山本 欽久
委員 南川 則之

副委員長 山本 哲也
委員 瀬崎 伸一
委員 戸上 健

○欠席委員（なし）

○出席説明者

・勢力総務課長

○職務のために出席した事務局職員

事務局長 岩井 太
議事総務係書記 岡村 なぎさ

次長兼
議事総務係長 平山 智博

(午前10時00分 再開)

○坂倉広子委員長 皆さん、おはようございます。

ただいまから議会運営委員会を再開いたします。

早速ですが、令和6年6月5日の会議に提出されます議案の概要について、総務課長の説明を求めます。

総務課長。

○勢力総務課長 おはようございます。総務課、勢力です。よろしく申し上げます。

それでは、令和6年6月5日会議に提出いたします議案について説明させていただきます。

まず、令和6年6月5日会議提出議案一覧表をご覧ください。

今回提出いたします議案は、議案第1号から議案第4号までが令和6年度の補正予算議案で4件、議案第5号及び議案第6号が条例の一部改正議案で2件、その他の議案として議案第7号から議案第9号までの3件です。そして、報告議案といたしまして2件を含めた合計11件を提出いたしております。

まず、議案第1号についての説明とさせていただきますので、令和6年度一般会計補正予算（第2号）等の概要をご覧ください。

1ページ目の1、補正予算の規模ですが、低所得世帯等支援給付金給付事業で4,755万6,000円、定額減税調整給付金給付事業で8,893万円、予防接種事業で1億126万5,000円などを計上し、補正後の一般会計予算額は129億6,550万円となります。

特別会計においては、国民健康保険事業で290万円を計上し、補正後の特別会計予算額は72億5,490万円となります。

企業会計においては、水道事業で294万9,000円を減額するほか、下水道事業で560万円を計上し、補正後の企業会計予算額は20億7,536万9,000円となります。

それでは、補正予算の概要の主なものについて説明させていただきます。

そのまま概要の4ページをご覧ください。

下段のほうからですが、地震対策推進事業では185万7,000円を計上しています。災害時における生活用水の確保として災害時協力井戸登録制度を導入することから、井戸の水質検査に要する費用等を補正するものです。

次に、右側5ページの上段をお願いします。

一般コミュニティ事業では590万円計上しています。宝くじの収益を基にした一般財団法人自治総合センターが行う事業の採択を受けたことから、備品整備に対する費用について補正をするものです。対象は、安楽島町内会、若杉町内会、みどりが丘町内会の3団体でございます。

その下、下段では、地域おこし協力隊事業で414万6,000円を計上しています。新たに、海女文化をはじめとする観光資源の磨き上げや、ふるさと納税推進として地域おこし協力隊の任用を予定することから、不足する費用を補正するものです。

次に、6ページをお願いします。

上段で、移住相談支援事業で72万円を計上しています。都市圏等における移住希望者の受入れ環境を整備

するとともに、定住・定着に向けた移住者の支援を目的として設置する定住支援員について、新たに4地区の配置に必要な費用を補正するものです。

下段では、地域交通事業として386万1,000円を計上しています。バス停留所用地について、当初の予定より広い区画が使用可能となったことから、利用者の利便性向上を図るため、整備に必要な費用を補正するものです。

次に、8ページをお願いします。

新規事業4事業が続きますが、まず、8ページ上段の住民税均等割世帯支援給付金給付事業では1,001万1,000円を計上しています。物価高騰等に直面する低所得世帯を支援することを目的に、住民税均等割世帯支援給付金を給付するための費用を補正するものです。給付額は、新たに令和6年度住民税均等割のみが課税されている世帯に1世帯当たり10万円となっています。

次に、下段で、低所得子育て世帯支援給付金給付事業として250万6,000円を計上しています。先ほどの給付事業と同様、物価高騰等に直面する低所得世帯を支援することを目的に、住民税非課税世帯及び住民税均等割のみの課税世帯に対する子供加算を給付するための費用を補正するものです。給付額は、新たに令和6年度住民税非課税世帯及び住民税均等割のみが課税されている世帯に属する18歳以下の子供1人当たり5万円となっています。

次に、隣の9ページの上段で、住民税非課税世帯支援給付金給付事業として3,503万9,000円を計上しています。物価高騰等に直面する低所得世帯を支援することを目的に、住民税非課税世帯に支援給付金を給付するものです。給付額は、新たに、令和6年度住民税均等割が課税されていない世帯に1世帯当たり10万円となっています。

続きまして、下段の定額減税調整給付金給付事業として8,893万円を計上しています。定額減税の対象でありながら減税し切れないと見込まれる方を対象に、定額減税調整給付金を給付するための費用を補正するものです。給付額は、減税し切れないと見込まれる所得税及び住民税で、納税義務者1人当たり1万円から4万円となっています。

続きまして、10ページ下段をお願いします。

児童手当事業では6,870万円を計上しています。令和6年10月から児童手当の支給範囲の拡充に伴い、法改正に対応したシステム改修費を補正しています。

続きまして、11ページ上段をお願いします。

拡充事業として、予防接種事業1億126万5,000円を計上しています。新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について、各医療機関での個別接種に伴う委託料のほか、新たに認定のあった健康被害給付金の費用を補正するものです。

次に、下段の拡充事業として、環境保全対策事業360万4,000円を計上しています。県補助金を活用し、温室効果ガスの排出削減を図るため、太陽光発電設備等設置費補助金等を補助するための費用を補正するものです。

次に、12ページ上段をお願いします。

漁港整備事業（県単事業）として327万8,000円を計上しています。県補助金を活用し、菅島漁港の

腐食により破損している箇所改修を行う改良工事費用を補正するものです。

続きまして、右側13ページ上段をお願いします。

学校安全総合支援事業として108万3,000円を計上しています。地震等の災害時に児童生徒一人一人が自分自身の命を守る意識を高め、困難な課題に立ち向かう知識や実践力を学ぶほか、市内の教育関係者を対象にした講演会の実施や視察を行い、防災リーダーとしての役割を果たす教員を養成し、防災・減災教育を推進するための費用を補正するものです。

次に、下段のバリ2024オリパラ推進事業として331万1,000円を計上しています。本市出身の選手がパリ五輪日本代表に内定したことから、その出場選手を応援するための費用を補正するものです。

続いて、14ページをお願いします。

債務負担行為です。

運動施設管理運営事業で2億1,545万6,000円を計上しています。市運動施設の効率的な管理や市民サービスの向上を目的とした施設の管理業務について、今年度で契約が満了することから、次期5年間の当該業務の債務負担行為を設定するものでございます。

右側、次、15ページでは、国民健康保険事業特別会計における総務給与等管理経費として290万円を計上しています。法改正に伴う健康保険証とマイナンバーカードの一体化対応等に係るシステム改修費に係る費用を補正しています。

続きまして、ちょっと今度は別のもので、水道事業と下水道事業になります。

ぺら1枚のものになるかと思いますが、水道事業会計補正予算（第1号）の概要をお願いします。

水道事業会計補正予算につきましては、下水道事業会計の人事異動に伴う人件費の補正のほか、下水道事業との納付書の一体化に向けたシステム等の改修費用を補正するものでございます。

続きまして、もう一枚の下水道事業会計補正予算（第1号）の概要をお願いします。

下水道事業会計補正予算につきましては、人事異動により不足する人件費の補正のほか、下水道料金のコンビニ収納対応に必要な費用を補正するものです。財源は他会計補助金で560万円となっています。

以上が補正予算に係る概要の説明です。

続きまして、最初に見ていただきました提出議案一覧のほうをご覧ください。

1枚めくっていただいて、議案第5号から条例議案のほうの説明をさせていただきます。

議案第5号、鳥羽市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例等の一部改正についてです。

指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令等の施行に伴い、関係条例について所要の改正を行うもので、関係条例は4条例あります。一つ目が、鳥羽市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例、二つ目が、鳥羽市指定密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例、三つ目が、鳥羽市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例、四つ目が、鳥羽市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の4本になっております。

主な内容ですが、共通事項は、書面揭示規制の見直し、管理者の兼務範囲の明確化、身体拘束等の適正化の推進について関係条項を整理するほか、その他、各種サービスごとの基準等についても関係条項を整理するものでございます。

続きまして、議案第6号、鳥羽市地域包括支援センターの包括的支援事業を実施するために必要な基準を定める条例の一部改正についてです。

介護保険法施行規則及び指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の一部を改正する省令の施行に伴い、所要の改正を行うものです。

次のページをご覧ください。

主な内容といたしまして、地域包括支援センターの職員配置の柔軟化を図るほか、介護保険法施行規則の改正に伴う条項の整理を行うものでございます。

次に、議案第7号、工事請負契約の締結についてでございます。

鳥羽東中学校大規模改修工事で、令和6年度、昨年に引き続き、2期目になるかと思えます。地方自治法第96条第1項第5号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

内容は、契約の目的が鳥羽東中学校大規模改修工事（令和6年度）、契約の方法は条件付き一般競争入札、契約の金額が1億7,193万円、契約の相手先は鳥羽市安楽島町1412番地17、株式会社亀川組の代表取締役、亀川稔となっております。

続いて、議案第8号、三重南消防通信司令事務協議会の設置についてでございます。

消防通信指令に関する事務を共同して管理し及び執行することを目的に、地方自治法第252条の2の2第1項の規定に基づき規約を定め、三重南消防通信指令事務協議会を設置することについて、関係地方公共団体と協議するため、同条第3項の規定により議会の議決を求めるものでございます。

関係地方公共団体といたしまして、4市3組合、4市は伊勢市、鳥羽市、熊野市、志摩市、3組合が三重紀北消防組合、松阪地区広域消防組合、紀勢地区広域消防組合となっております。

続きまして、議案第9号、鳥羽市都市マスタープランの策定についてです。

都市計画法第18条の2の規定に基づき、本市が目指すまちづくりを具体的に示すものとして、令和6年度からおおむね10年間の都市計画に関する基本的な方針を策定したく、鳥羽市議会基本条例第9条の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

次のページをご覧ください。

報告第3号、令和5年度鳥羽市一般会計繰越明許費繰越計算についてでございます。

令和5年度一般会計予算において繰越明許費を設定した事業の繰越額を調製したので、報告いたします。

続きまして、報告第4号、令和5年度鳥羽市水道事業会計予算繰越計算については、令和5年度水道事業会計予算において、年度内に支払い義務が生じなかった建設改良事業の繰越額を調製したので、報告するものでございます。

以上、説明とさせていただきます。

○坂倉広子委員長 総務課長の説明は終わりました。

続きまして、会議日程及び議案の取扱いについて、事務局長より説明をさせます。

事務局長。

○岩井事務局長 それでは、私のほうから、6月会議日程についてご説明いたします。

6月会議に上程される議案につきましては、先ほど総務課長からご説明のありましたとおり、補正予算議案4件、条例議案2件、その他議案3件、報告案件2件の合計11件でございます。

一般質問につきましては、6名の議員から通告がございました。

次に、その議案の取扱い並びに会議の日程についてであります。お手元の会議日程案をご覧ください。

会議日程及び議案の取扱いについては、6月5日に会議を開きます。議事に先立ちまして諸報告の後、会議録署名議員の指名を行います。次に、議案第7号の1件に関しまして、即日表決を行いたいことから、提案者の趣旨説明の後、議案に対する質疑を行い、行政常任委員会に付託したいと思います。委員会終了後、議場にて、行政常任委員長報告、委員長報告に対する質疑、討論の後、表決を行います。その後、議案第1号から第6号及び議案第8号及び第9号の8件を一括議題とし、提案者の趣旨説明をいただいた後、報告第3号から第4号についての報告を行っていただきます。

一般質問は6人でありますので、6月11日、12日の2日間で、1日目3人、2日目3人としたいと思います。

続きまして、6月14日に議案に対する質疑を行い、各常任委員会へ付託いたします。各常任委員会の日程につきましては、6月17日に行政常任委員会、6月18日に予算決算常任委員会を開催し、ご審議をいただきます。

続きまして、年間スケジュールにおきましては、最終日の日程を6月24日に予定しておりましたが、最終日を6月25日に変更させていただき、会議録署名議員の指名の後、各常任委員会における委員長報告、委員長報告に対する質疑、討論の後、表決を行います。

また、6月5日に即日表決を行う議案第7号の質疑の締切りにつきましては、6月3日月曜日の正午とさせていただきます、他の議案に関する質疑の締切りは6月12日水曜日の正午とさせていただきます。

以上、よろしくご審議のほどお願いいたします。

○坂倉広子委員長 事務局長の説明は終わりました。

このことについて、ご質問、ご意見はございませんか。

戸上委員。

○戸上 健委員 2点お伺いします。

議案の5号、6号で、主に関係条項の整理ということになっておりますけれども、議案書では、5号については37ページに及ぶ膨大な中身になっております。これ、行政常任委員会で、みんな委員が理解するためには、相当な説明が要するというふうに思うんです。

新旧対象表も10ページになっておって、具体的な中身についても、新しいものがよく触れられております。執行部の説明は、そういう新旧対照表に基づく具体的な説明ということをするとなさると、我々委員が理解できるように十分時間を取ってなさるという理解でよろしいでしょうか。

○坂倉広子委員長 総務課長。

○勢力総務課長 そのように思っております。

○坂倉広子委員長 戸上委員。

○戸上 健委員 2点目ですけれども、議案9号のマスタープランの策定についてお尋ねします。

これは、以前にちょっと事務局に聞いたら、12月ぐらいの全協で概略の説明があったということでした。僕もあまりよく覚えていないんです。今回これを見ると、20年間の向こうですよ、計画だと。それから、市長の冒頭の「はじめに」というところを見ると、今後の鳥羽は、海洋文化都市ということ六次総で見ておったんですけども、もうそういうものはやめて、環境都市、交流都市、定住都市、防災都市を目指すんだと。相当なチェンジというか、かじ取りを変えるという方向なんです。向こう10年間の計画だけでも、20年先を展望したと。

議会として、これ議決案件ですから、相当重要だと僕は思うんです。突っ込んで議論する必要があるというふうに思うんです。建設課からの説明だけでも、当日どの程度、建設課は説明するという態勢なんですか。これを全部、概要から含んで、内容まで逐一読んで説明して、我々のヒアリングを受けて、そういう時間を取るんかいな。

○坂倉広子委員長 戸上委員、すみません、事務局長のほうからちょっと説明をさせていただきます。

○岩井事務局長 この件につきましては、戸上委員、先ほど20年と言いましたけれども、10年の期間になるかと思えます。

○戸上 健委員 期間は10年やけれども、20年間を展望してというふうに書いてあるわけなんです。相当長期の展望ということ……ちょっと言葉挟んで申し訳ない。

○岩井事務局長 あとそれと、議会に以前、全員協議会を開かせていただいて、パブリックコメントをする前に議員の皆様説明させていただいて、ご意見等あるようでしたらご意見くださいという時間を取らせていただいておりますので、各議員さんからご質問ある場合は、そのときに返事等、提出、回答があったかと思っておりますので、今回改めて一から細かく説明という形はないかと思っておりますので、以上になります。

○坂倉広子委員長 瀬崎委員。

○戸上 健委員 ちょっと待って。

○坂倉広子委員長 ちょっと待ってくださいね。

戸上委員。

○戸上 健委員 そうすると、委員会の、行政常任委員会は行政常任委員長の責任の範囲なんやけれども……分かりました。了解です。

○坂倉広子委員長 それでは、瀬崎委員。

○瀬崎伸一委員 委員長、すみません。行政常任委員会に上がる、まずは条例議案のほうなんですけれども、私も少し分量というか、細かいところがすごく重なっているにもかかわらず、分量的には多いなということで、担当課のほうには、できればもう少し分かりやすい資料はないのかというような問合せは、実はもう入れてございます。議運のほうでお願いをしていただければ、そのようにというふうになると思っておりますので、ちょっとまとめようかなというようなニュアンスのことは聞いております。

それと、マスタープランのほうも同じく聞かせていただいて、パブリックコメントが出ていて、それも確認

したんですけれども、その辺の説明はいただけるのかなと思うんですけれども、私もちょっと、全協があつてから大分たつてしまっているということで、その辺を少し何らかの依頼をせないかんのかなというふうには思っておるんですけれども、一応は説明は受けてあるという前提であるというふうには説明聞いています。そんな感じで、今のところはいいですか。

○坂倉広子委員長 ほかに。

河村議長、お願いします。

○河村 孝議長 戸上委員の疑問、ごもつともだと思います。委員長おっしゃったように、瀬崎委員長から事前に事務局を通して、ボリュームが多いので、なかなか説明を求めるのが難しいので、もし事前に資料等々を早めの提出ができるのであればお願いしたいという要望も、お話は聞かせていただいております。それは委員長の権限の範囲なので、各課、両方の課に委員長から、なるべく丁寧な説明を求めるということは申し入れてもいいのではないのかなと思うんですけれども、事務局長、いかがでしょうか。

○坂倉広子委員長 ありがとうございます。

事務局長。

○岩井事務局長 結構だと思います。

○坂倉広子委員長 よろしいでしょうか。

南川委員。

○南川則之委員 行政常任委員会で、あくまでも議案として上がってくるということで、採決もせないかんということですね。そのときに十分議論して、各自判断するというのでいいかなと思いますので、よろしく願います。

○坂倉広子委員長 ありがとうございます。

ほかにございませんか。

(「なし」の声あり)

○坂倉広子委員長 それでは、ないようですのでお諮りいたします。

会議日程及び議案の取扱いについては、事務局長の説明のとおり取り扱うのに賛成の委員は起立を願います。

(起立全員)

○坂倉広子委員長 起立全員であります。

よって、議案等の取扱いについては、そのように決定いたします。

それでは、総務課長の退席をよろしく願います。ご苦勞さまでございました。

続きまして、協議事項2、TOBAミライトークの事後処理について、広報広聴委員会副委員長に説明を求めます。

山本副委員長、お願いします。

○山本欽久広報広聴委員会副委員長 広報広聴委員会副委員長、山本でございます。よろしく願います。

私のほうから、4月3日に行われました広報広聴委員会で議論されましたTOBAミライトークの事後処理について説明をさせていただきます。

ドライブのほうに広報広聴委員会の会議録がございますので、そちらのほうをご覧ください。

審議内容及び結果に記載のとおり、2月に実施をしました鳥羽市自治会連合会さん、社会福祉協議会さんと菅島の未来を考える会さんとのミライトークで協議をした内容の取扱いにつきまして、意見として聞きおくべきものとするとの結論になっております。

また、ミライトークのフロー図において、広報広聴委員会委員長は当該団体に対し、出された意見がどのように取り扱われているかを文書で回答となっていることから、ドライブのほうに共有してありますミライトークの経過報告についてという報告書を、それぞれの団体へ提出をしたいというふうに考えております。

報告としては以上になりますので、皆様、取扱いについてご協議をお願いいたします。

以上です。

○坂倉広子委員長 ありがとうございます。

広報広聴委員会、山本欽久副委員長の説明は終わりました。

このことについて、他の広報広聴委員会の委員の皆さんは補足意見等は特にございませんか。

(「なし」の声あり)

○坂倉広子委員長 それでは、ないようですので、ただいま報告いただきました内容につきまして、取扱いを協議したいと思います。

ご質問やご意見はございませんか。

南川委員。

○南川則之委員 先ほど副委員長から説明あったとおり、そのとおりで私はいいと思いますので、よろしく願います。

○坂倉広子委員長 よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○坂倉広子委員長 それでは、ないようですので、TOBAミライトークの事後処理については、意見として聞きおくべきものとするにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○坂倉広子委員長 ご異議なしと認めます。

よって、TOBAミライトークの事後処理については、そのように決定いたします。

ご協議いただくことは以上です。

これもちまして議会運営委員会を散会します。

(午前10時32分 散会)

委員長はこの会議録をつくりここに署名する。

令和6年5月31日

議会運営委員長 坂 倉 広 子